

《到達目標》

- (1) 地域の産業や消費生活の様子,人々の健康な生活や安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。
- (2) 地域の地理的環境,人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。
- (3) 地域における社会的事象を観察,調査し,地図や各種の具体的資料を効果的に活用し,調べたことを表現するとともに,地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てるようにする。

学習計画(総授業時間数 70時間)

学期	単元	学習内容
前期	私のまち 学校のまわり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の周りの様子に関心を持ち,紹介カードを活用しながら探検の計画を立てる。 ・コースを選択,探検し,発見したことを工夫して地図にまとめる。 ・絵地図を発表し,もっと分かりやすくするために地図の約束を決め,地図を書き直す。 ・絵地図と実際の景色を見比べ,気づいたことを出し合う。
	みんなのまち 市の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域と他地域との結びつきに気づくとともに,市の様子に関心を持ち,探検の計画を立てる。 ・グループに分かれて,地図,写真,その他の資料を活用して選んだ場所の特徴を調べ,工夫して表現する。 ・学校の周りや市の特徴ある場所の様子を比較し,類似点や相違点を整理する。 ・調べたことをガイドマップなどに表現する。
後期	人々の仕事と私たちの暮らし スーパーマーケットで働く人	<ul style="list-style-type: none"> ・どこに,どんな働く人がいるかを見つけ,その実際について話し合う。 ・見学・買い物体験に行き,働く人にインタビューして,工夫を探る。 ・調査をもとに,買う人の立場から,どんなことに気をつけて買い物をしているか話し合う。 ・品物の産地を確かめ,他地域とのつながりを調べる。 ・インタビューをもとに,たくさんのお客さんがくる秘密を探る。 ・地域にある特色あるお店について調べる。
	工場の仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で作られている品物を手がかりにして,地域にある工場に興味・関心を広げる。 ・パンフレットなどをもとに,工場で働く人を調べるための見学カードをまとめる。 ・工場見学を通して,生産の実際に触れる。 ・働く人へのインタビューをもとに,生産者の工夫と努力を探り,表現する。 ・身近にある工場と働く人々の実際を調べてまとめる。

《評価の観点》
 《社会的事象への関心・意欲・態度》
 地域社会における社会的事象に関心をもち,それを意欲的に調べることを通して,地域社会の一員としての自覚をもつとともに,地域社会に対する誇りと愛情をもつとする。
 《社会的な思考・判断》
 地域社会における社会的事象から学習の問題を見いだして追究・解決し,地域社会の社会的事象の特色や相互の関連について考え,適切に判断する。
 《観察・資料活用の技能・表現》
 地域における社会的事象を的確に観察,調査したり,地図や各種の具体的資料を効果的に活用したりするとともに,調べた過程や結果を工夫して表現する。
 《社会的事象についての知識・理解》
 地域の産業や消費生活の様子,人々の健康な生活や安全を守るための諸活動,地域の地理的環境,人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを理解している。



《評価の方法》
 ・活動の様子の観察,発表,ノート,プリント,手びき,テストなど
 ・自己評価,相互評価など。

《到達目標》

- (1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚を持つようにする。
- (2) 地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。
- (3) 地域における社会的事象の観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てるようにする。

学習計画(総授業時間数 85時間)

学期	単元	学習内容
前期	けんこうな くらしを守る	(1)くらしをささえる水
		(2)電気とくらし
		(3)ガスとくらし
		(4)ごみのしより
		(5)下水のしより
後期	くらしのう つりかわり	(1)古い道具と人びとのくらし
		(2)文化財や年中行事
		(3)地いきの開発につくした人びと
	わたしたち の県の様子	(1)広島市の位置
(2)広島県の様子		
(3)広島県のいろいろな地いき		
(4)広島県の広がりとかくらし		

《評価の観点》

《社会的事象への関心・意欲・態度》

地域における社会的事象に関心を持ち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会の一員としての自覚を持つとともに、地域社会に対する誇りと愛情をもとうとすることができる。

《社会的な思考・判断》

地域社会における社会的事象からの学習の問題を見いだして追求・解決し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連について考え、適切に判断することができる。

《観察・資料活用の技能・表現》

地域における社会的事象を的確に観察、調査したり、地図や各種の具体的資料を効果的に活用するとともに、調べた過程や結果を工夫して表現することができる。

《社会的事象についての知識・理解》

地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や安全を守るための諸活動、地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを理解することができる。



《評価の方法》

- ・活動の様子の観察、発表、ノート、プリント、テストなど
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法(授業の工夫・家庭学習)

学習プリントや学習の手引きを使って、内容の定着を図ります。

学習内容に応じた社会見学や調べ活動を行いながら、くらしを守る諸活動について理解できるようにします。

調べたことや分かったことを発表できる場を設け、考える力の向上を図ります。見やすい、分かりやすいノートづくりについても適宜指導をしていきます。

《到達目標》

- (1) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展に関心をもつようにする。
- (2) 我が国の国土の様子について理解できるようにし、環境の保全の重要性について関心を深めるようにするとともに、国土に対する愛情を育てるようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査し、地図、統計などの各種基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味について考える力を育てるようにする。

学習計画(総授業時間数 90時間)

期	単 元	学 習 内 容
前 期	1 わたしたちの生活と食料生産 米作りのさかんな庄内平野	<ul style="list-style-type: none"> ・米袋調べから、庄内平野に関心を持つ。 ・庄内平野の米作りの工夫や努力。 ・庄内平野の米作りの問題点。
	水産業のさかんな 枕崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・枕崎市で漁業が盛んなわけと、かつお漁の工夫。 ・水産業の問題点と、養殖や栽培漁業や運輸などの工夫による努力。
	これからの食料生産	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の食料生産の問題点、国内自給と輸入。 ・食料生産における環境問題と消費者。
	2 わたしたちの生活と工業生産 自動車を作る工業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車工場の仕事の様子や工夫。 ・自動車工場と人々の生活。 ・これからの自動車づくりと環境問題。
後 期	工業生産と工業地域	<ul style="list-style-type: none"> ・工業の盛んな地域の特徴。 ・太平洋ベルトに集まっているわけ。 ・町工場と大工場の違いやつながり。
	工業生産と貿易	<ul style="list-style-type: none"> ・成田空港を事例に、貿易と運輸の働き。 ・貿易の概要。
	3 わたしたちの生活と情報 放送局の働き	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュース番組の作られ方、放映のされ方。 ・番組作りの工夫や努力、放送局の役割。
	情報と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・情報とわたしたちの生活とのかかわり。 ・情報の活用や問題点。
	4 わたしたちの国土と環境 さまざまな自然と暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の国土全体の様子。 ・沖縄の気候とくらしの関係。 ・十勝平野の気候とくらしの関係。
	わたしたちの生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・川の流れると人々のくらしや産業とのかかわり ・川の環境を守るための人々の努力や工夫。 ・環境を守るために自分たちができること。
わたしたちの生活と森林	<ul style="list-style-type: none"> ・川と森林の関係。 ・白神山地と人々のくらし関係。 ・自然を守るための努力や工夫。 	

《評価の観点》

《社会的事象への関心・意欲・態度》

産業と国土の様子に関心を持ち、それを意欲的に調べ、産業の発展と環境の保全の重要性について関心を深めようとしている。

《社会的思考・判断》

産業と国土の様子から問題を見いだして追究・解決をし、その事象の意味を考え、適切に判断している。

《観察・資料活用の技能・表現》

産業と国土の様子を的確に調査したり、地図・統計などいろいろな資料を効果的に活用したりして、調べた過程や結果を目的に応じた方法で表現している。

《社会的な事象についての知識・理解》

産業の様子、産業と生活との関連、国土の様子を理解している。



《評価の方法》

- ・授業中の様子、発表、ノート、プリント、テストなど。
- ・資料選びや見学メモなど。
- ・新聞記事集めや新聞づくり。
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法(授業の工夫・家庭学習)

学習内容や地域の実情に応じて、見学や調査をし、学習に生かします。見学カードにメモをさせます。資料集や地図帳など、いろいろな資料を使って進めます。新聞記事にも関心をもち、資料としていきます。また、まとめとしての新聞づくりをさせます。見やすい、分かりやすいノートづくりについても適宜指導をしていきます。

《到達目標》

- (1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てるようにする。
- (2) 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々とともに生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査し、地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味をより広い視野から考える力を育てるようにする。

学習計画(総授業時間数 100時間)

学期	単 元	学 習 内 容
前 期	米作りのむらから古墳のくにへ	・米作りのむらが、次第にくにへと発展し、やがて大和朝廷により国土が統一されていく様子をとらえる。
	聖武天皇と奈良の大仏	・聖武天皇の大仏づくりを中心に調べ、このころ天皇を中心とした政治が確立したことをとらえる。 ・貴族が力を持ち、日本風の文化がおこったことをとらえる。
	源頼朝と鎌倉幕府	・源頼朝の働きを中心に、このころ武士による政治が始まったことをとらえる。 ・室町時代の代表的な建物か絵画を調べ、室町文化が生まれたことをとらえる。
	3人の武将と全国統一	・織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の中から一人選んで調べ、相互に伝え合い、戦国の世が統一されていくことをとらえる。
	徳川家光と江戸幕府	・家光の働きを中心に、大名統制や鎖国など調べ、身分制度が確立し、武士による政治が安定したことをとらえる。
後 期	江戸の文化を作り上げた人々	・伊能忠敬の働きを調べ、歌舞伎か浮世絵、国学か蘭学のうち、それぞれ1つを選んで調べ、社会が安定するにつれて町人の文化が栄え新しい学問がおこったことをとらえる。
	明治維新をつくりあげた人々	・大久保、西郷、木戸らの働きを中心に、明治維新、文明開化、大日本帝国憲法など、近代化が進められていった頃の様子をとらえる。
	世界に歩みだした日本	・条約改正の働きを中心に、国力が充実し、国際社会における日本の地位が向上していったことをとらえる。
	長く続いた戦争と人々の暮らし	・日中戦争から第2次世界大戦にいたる歴史について調べ、被害を受けたことや、損害を与えたことをとらえる。
	新しい日本、平和な日本へ	・国際社会で重要な役割を果たすようになったことをとらえる。
	私たちの願いを実現する政治	・国民生活の安定と向上を図ろうとする地方公共団体や国の政治の働きについて考える。
	わたしたちのくらしと日本国憲法	・国民の権利と義務の内容について調べる。 ・日本国憲法の3つの基本原則についてわかる。 ・我が国の民主政治は、日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることがわかる。
	日本と関係の深い国々	・外国の人々の文化や習慣の違いを理解することは、外国の人々のものの考え方を見方を理解し、尊重することにつながることを考える。 ・外国の人々の暮らしの様子について具体的に調べる。

《評価の観点》

《社会的事象への関心・意欲・態度》

社会的事象に関心を持ち、それを意欲的に調べることを通して、社会の一員として自覚をもって果たそうとする。

《社会的な思考》

社会的事象から学習の問題を見いだして追究・解決し、社会的事象の意味を考え、適切に判断する。

《観察・資料活用の技能・表現》

社会的事象を的確に観察、調査したり、各種の資料を効果的に活用したりするとともに、調べたことを表現する。

《社会的事象についての知識・理解》

社会的事象の様子や働き、特色及び相互の関連を具体的に理解している。



《評価の方法》

- ・活動の様子を観察、発表、ノート、プリント、新聞、テストなど
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法(授業の工夫・家庭学習)

ひとりひとりの学習を保障するため、学習プリントを活用します。課題解決的な授業を行います。発展的な内容にも取り組んでいきます。話し合い活動を取り入れます。